

令和5年3月 自己評価結果（ドットジュニア千葉中央第3教室（児童発達支援・放課後等デイサービス））

厚生労働省が定める「放課後等デイサービスガイドライン」に基づいて定期的に自己評価を実施しています。
この自己評価結果、また保護者様からいただいたご意見・ご要望をもとに、業務・サービスの改善をしていくことを目的としています。

	評価項目	利用保護者様からのご意見、ご感想 <アンケート調査：R5/11/16～R5/11/26>	事業所の取り組み状況改善の方針等 <職員アンケート及び検討：R5/12/1～R6/1/31>
環境・体制整備	訓練室等の適切なスペースの確保	慣れてきた先生が変わってしまうと悲しいような形でなるべく変わらないといいです。	・教室に対して安心感を持ってもらうように、すべての職員と保護者とで信頼関係構築に努めさせていただきます。
	職員の配置状況		
	事業所内の安全対策		
	環境設備の衛生管理		
業務改善	業務改善を進めるためのPDCAサイクル	先生達の方からも学習のアドバイスなどあれば嬉しいです。 ひらがなの読みができると、いいなあと、思っています。	・具体的なアドバイスまで出来るように職員の研修の機会や学習系の活動も取り入れていきます。
	職員の資質の向上、研修の機会の確保		
	運営支援システムHUGの運用		
適切な支援の提供	適切なアセスメントの実施	だいぶ発語も増えてきており、本人も通所を楽しみにしています。 発語が増えてきていることが嬉しいです。	・貴重なご意見ありがとうございます。今後もお子様に沿った支援を行えるように努力してまいります。またご本人がそれぞれの自立にむけて成長できるようにしていきたいと思えます。
	ニーズや課題の客観的な分析、個別支援計画の作成		
	適切な活動プログラムの立案		
	支援開始前の支援内容や役割分担の確認		
	支援終了後の振り返り		
	適切なモニタリングの実施		
	各種記録の正しい作成、保管		

関係機関や保護者との連携	サービス担当者会議の実施	学校以外の友達が増えて、学校の合流で会ったりすると喜んで参加出来ていること。	・今後もお子様同士の関わりの促進に努めさせていただきます。また教室だけでなく学校といった他機関との連携を行い、包括的に支援が出来るように実施いたします。
	学校との情報共有、連絡調整		
	子どもの発達状況や課題の共通理解		
	相談に対する必要な助言と支援		
	学校卒業時に他の障害福祉サービス移行等のサポート		
	事業所外の専門機関等との連携		
	ペアレント・トレーニング等の支援		
保護者への説明責任等	契約時の丁寧な説明（支援の内容、利用者負担額等）	高学年に向かうにつれて、タイピングなど仕事に繋がる作業系の所に通所した方がよいのか気になります	・支援の方針やお子様の成長のご相談などいつでも承っております。教室の活動として取り入れることも出来るかと思えます。より適した支援が提供できるように努めていきます
	苦情対応の体制整備、発生した場合の迅速かつ適切な対応		
	会報の発行等の事業所の情報発信		
	個人情報の適切な取り扱い		
	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮		
非常時等の対応	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定	雪の日の対応など知りたい。	・台風や雪の日などは適宜アナウンスをさせて頂いております。安全に通所して頂き、活動に参加できるように安心感を持った連絡を実施していきます
	緊急時対応の保護者への周知		
	定期的な避難訓練等の実施		
	虐待防止、身体拘束についての職員研修の実施		
	ヒヤリハット事例の事業所内共有		
満足度	子どもが通所を楽しみにしているか	<p>・友達や兄弟に優しく接することが増えた</p> <p>・いつもありがとうございます。色々プログラムも考えて頂き楽しく通わせて頂いています。色々、考えてくださり、いつも、感謝しています。また行きたい気持ちが復活して良かったです。</p>	<p>・貴重なご意見誠にありがとうございます。</p> <p>お子様1人1人が満足感を持って活動に参加して頂けるように今後も取り組んでまいります。ご相談などありましたら、いつでも連絡をいただければと思います。</p>
	現状抱える不安や悩み		
	通所を開始して良かったこと		
	今後期待したいこと		